

行政事業レビューシート (国土交通省)						
予算事業名	国土政策関係研究支援事業		事業開始年度	平成19年度		作成責任者
担当部局庁	国土計画局		担当課室	参事官		参事官 大野淳
会計区分	一般会計		上位政策	総合的な国土形成を推進する		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	国土形成計画法 国土利用計画法		関係する計 画、通知等	国土利用計画(全国計画)(平成20年7月4日閣議決定) 国土形成計画(全国計画)(平成20年7月4日閣議決定)		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	国土政策・国土計画に係る研究領域が拡大する一方で、研究の蓄積が不十分な状況にある。そのため、国土政策・国土計画に関連した調査・研究を行う若手研究者による研究を推進し、研究活動と行政の連携を強化することで、国土計画に係る研究の充実を図り、もって国土政策の効果的な実現に資するとともに、国土計画に関する研究者を広範に育成する。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	研究助成を実施するうえで必要となる研究課題の公募、選考に当たっての選考委員会の運営(研究助成を行う研究課題の選考については、学識者等からなる選考委員会により選考を行う。)、研究者所属機関との助成金に関する契約、研究の進捗状況の把握及び会計等管理、中間報告会、最終報告会の開催等、研究成果の取りまとめに関する一連の事務作業を行う。なお、研究成果については国土交通省のHPにおいて公開する。さらに、過年度の助成研究の成果について、その後の活用状況等を把握するためにフォローアップ調査を行う。					
実施状況	研究課題を募集した結果、計60件の応募があり、選考委員会による選考を経て、13件の研究課題を採択した。進捗管理として12月に中間報告会を行い、また3月には研究成果報告会を一般に公開して開催した。またフォローアップ調査から、過年度研究成果が「関連する学会での発表」や「専門書、論文の一部に利用」、「大学等の講義資料としての利用」等様々な所で活用されていることが判明した。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	12	24	23	23	21
	執行額	12	23	20		
	執行率	100.0%	95.5%	85.3%		
	総事業費(執行ベース)	-	-	-		
自己点検	支出先・ 使途の把握水準・ 状況	・請負契約額のうち18百万円は助成金として研究者へ支出されていることを把握している。 ・事業実施の状況については、監督職員が請負業者と定期的に打合せを行うなど、事業実施状況について報告を受け、監督を行ってきたところであり、十分に把握している。 ・調査の成果は「関連する学会での発表」や「専門書、論文の一部に利用」、「大学等の講義資料としての利用」等様々な活用がなされている。				
	見直しの 余地	・今後は、政策上の重要課題をテーマにした「指定課題」を設けるなど事業の効果がより発揮されるよう工夫していく。また、平成21年度より一般競争入札を実施しているところであるが、引き続き一般競争での発注を行う。				
予算 監 視 の 効 率 化	【抜本的改善】 事業の必要性が明確でかつ納得できるものであるものに限り実施する。					
補 記	【予算科目】 ・326 国土形成推進費 ・05-95 総合的な国土形成の推進に必要な経費 (21年度予算額) (21年度決算見込額) ・95016-2122-08 職員旅費 0.3百万円 0.1百万円 ・95016-2123-09 国土形成推進調査費 23百万円 20百万円					

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

国土交通省
20百万円

職員旅費
1百万円

- ・調査の企画立案
- ・発注及び進捗管理



【一般競争入札】

A. (財)国土計画協会
20百万円

- ・研究課題の公募
- ・選考委員会の運営
- ・研究者所属機関との助成金に関する契約
- ・中間報告会、最終報告会の開催等



【公募】

B. 研究機関等(13機関)
18百万円

- ・国土政策・国土計画に係る研究の実施

A.(財)国土計画協会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費等	人件費、諸経費	0.3			
公募経費	公募チラシ作成、発送費等	0.1			
会議開催経費	謝金、会場費等	0.8			
印刷製本費	報告書、報告会資料の印刷費	0.6			
助成金	各研究機関等への助成	18			
計		20	計		0
B.九州大学			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	アルバイト賃金、調査・ヒアリング謝金	0.5			
資料費	図書費等	0.6			
消耗品費	文具等	0.8			
旅費交通費	調査旅費等	1.2			
その他	印刷製本費、通信費	0.1			
間接費	所属機関の間接費	0.3			
計		3.3	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

B.研究機関等(13機関)18百万円		
No.	支出先	金額 (百万円)
1	九州大学	3
2	東京工業大学	3
3	東北大学	2
4	京都大学	2
5	大分大学	2
6	筑波大学	2
7	(株)三菱UFJリサーチ& コンサルティング	1
8	東京大学	1
9	長崎県立大学	1
10	中京大学	0.7

No.	支出先	金額 (百万円)

No.	支出先	金額 (百万円)
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

No.	支出先	金額 (百万円)
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		